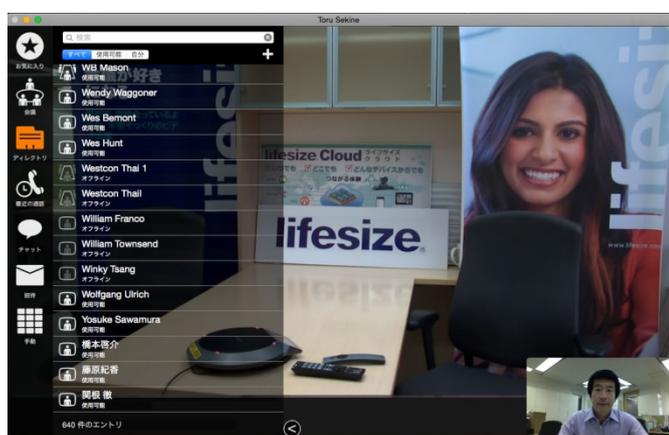


## 製品・サービス動向-国内

## ■ワールドワイドに展開する LifeSize Cloud

サービス機能強化を実施：日本語を含む15言語、Skype for Business 相互接続、1会議室40名参加など新たに対応

(取材：5月22日)



LifeSize Cloud ユーザー画面例 (ライフサイズ)

「LifeSize Cloud サービスを開始して1年足らずだが、全世界ではすでに多くの企業ユーザに利用していただいている。当社は、今後クラウドサービスに多くの経営資源を投じていく考えだ。」と語るのはライフサイズ国際担当バイス プレジデント Andreas Wienold 氏。同氏の再来日に合わせて都内の同社オフィスにて最近のLifeSize Cloud の動きについて取材した。

昨年サービスを発表以来、現在 100 か国以上で提供されており顧客数は 1,260 に達した。また、有償で利用する登録ユーザ数は 40,000 人を優に超え、毎日平均 2,500 人が利用、一週間の利用コール数は 20,000 コール以上を達成している。

LifeSize Cloud サービスは、クラウド型の HD(60fps) ビデオ会議サービス。同社のビデオ会議システム「Icon

シリーズ」やサードパーティビデオ会議システムのほか、Windows、Mac、iOS、Android に対応したパソコンやスマートデバイスからビデオ会議や資料共有が利用できる。

レクチャーモード、レコーディング、ゲスト接続ソフトウェア自動アップデートなどの機能のほか、ユーザ操作画面については OS を問わず同じインターフェイスを採用している。また、NAT ファイアウォール超えも可能なため企業内イントラネットから公衆インターネットまでビジネスニーズに対応した機能を提供している。

そのなかで、ポイント to ポイントのビデオ通話から多地点通話へ自動でエスカレーション(移行)する機能は他社にないライフサイズが誇る機能のひとつだ。実際に体験するとわかるが、従来のようなポイント to ポイントから多地点への移行の際に一旦接続を切断する必要はなく、参加者を直感的なメニューから追加するだけでシームレスに多地点会議に移行できるようになっている。

この5月の機能強化では、以下の点が含まれる。(1) 日本語を始め、英語、ドイツ語、中国語、韓国語など15言語に対応した。(2) 「Lync 2013/Online」および「Skype for Business」との相互接続(ビデオ通話+双方向資料共有)を実現した。(3) 1 会議室に対して最大40名まで参加可能となった。(4) 無料ゲストユーザは、招待されたビデオ会議に接続する際に、標準ブラウザか、LifeSize クライアントソフトか、あるいは電話(日本国内にアクセス番号あり)でコールするなどを自由に選択することができるようになっている。

LifeSize Cloud のエンタープライズ版では、サポートにも特長がある。ユーザサポートは、何か障害などが発

生すれば世界どこであっても 1 時間以内に対応するとしている。加えて、サービス利用の契約内容によっては、専門のスタッフチーム「Customer Obsession Team(カスタマー オブセッション チーム)」が対応する。日々の利用の仕方はもとより、利用促進についてのアドバイスやサポートなども行う。

また、LifeSize Cloud のアップデートは通常 3 週間に一回のペースで行われている。ソフトウェアは自動で更新されるため、ユーザは何もすることなく、常に最新のバージョンを利用できるようになっている。

なお、LifeSize Cloud サービスは、2,000Gpbs 広帯域ネットワークでワールドワイドに相互に接続されている IBM SoftLayer 上(日本を含む全世界で 12 か所のデータセンタ)に構築されており、高品質な HD ビデオ会議が世界のどこでも利用できる環境が提供されている。

「従来ビデオ会議システムを導入するには、コスト的に高く手間もかかり、しかも時間的にも何か月も要することが多かったが、LifeSize Cloud では、申込をすればすぐにワールドワイドで高品質なビデオ会議を始められる。ユーザにとって面倒な手続きや運用保守など負担はない。これまでの数十年のビデオ会議の歴史を振り返ると、これはとても大きな変化だと思う。日本のユーザの皆様にも本格的に LifeSize Cloud を活用いただける環境が整った。」(同 Andreas Wienold 氏)

## ■SOBA プロジェクトのクラウド型 Web 会議

### 「SOBA ミエルカ・クラウド」：チャットに絵文字スタンプなど新たに 3 つの機能追加

(5 月 25 日)

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社が開発販売するクラウド型 Web 会議「SOBA ミエルカ・クラウド」のバージョンアップを発表。

SOBA ミエルカ・クラウドは、2013 年 5 月に開始した、インストールが不要なクラウド型 Web 会議サービス。PC・スマホなどマルチデバイスに対応し、デスクトッ

プ共有や Google カレンダーとの連携などが行え、月額固定料金で利用できる。

今回のバージョンアップでは主に 3 つの機能が新しくなった。

(1) チャット機能に 49 種類の絵文字スタンプを追加：従来のテキスト入力に加え、絵文字スタンプを使ったコミュニケーションができるようになった。スタンプは、「感情」「ユーティリティ」「バラエティ」の 3 種類ある。各タブから絵文字をクリックするとチャット画面に投稿される。最近使ったスタンプは「最近」からも選べるようになっている。



絵文字スタンプ一覧(左)と絵文字を投稿したチャット画面(右)  
(SOBA プロジェクト)

(2) 「設定ウィザード」が大幅にリニューアル：絵や図の説明をわかりやすくし、チェック方式でパソコンや周辺機器の設定状況を確認できるようになった。設定ウィザードを使って順番に確認することでトラブルなく Web 会議を利用できる。



設定ウィザードの画面例 (SOBA プロジェクト)

(3) デスクトップ共有β版リニューアル：ミエルカ・クラウドを使って遠隔のPCを扱うことができる機能。これまでのマウス操作に加えテキスト入力が可能になった。遠隔で文書作成や編集が行えるためWeb会議の用途が広がる。この機能は、WindowsとMacで利用可能だが、スマートフォンやタブレットでは閲覧のみに対応している。

今回発表されたバージョンアップは、SOBA ミエルカ・クラウドを利用する際の基本月額料金（同時接続での契約プラン：5、10、20、50）で利用できる。料金は、1接続3,600円～（同時接続数50での契約時に適用）

## ■ユニアデックス：ビデオ・ウェブ・音声会議を統合するクラウドサービス「Cisco CMR Cloud」を提供開始

ユニアデックス株式会社（東京都江東区）は、ビデオ・ウェブ・音声会議を統合するクラウドサービス「Cisco Collaboration Meeting Rooms Cloud(Cisco CMR Cloud)」を5月28日から提供開始する。（5月28日）

※数台以上のビデオ会議端末を持つ構成では別途接続サーバーの導入をお勧めしております。



### Cisco CMR Cloud の構成 (ユニアデックス)

Cisco CMR Cloud は、シスコシステムズが提供するグローバルシェア No.1 のウェブ会議サービス「Cisco WebEx」と「Cisco TelePresence」をはじめとした各種ビデオ会議製品、一般電話・IP電話などの音声会議を統合するクラウドソリューション。

Cisco CMR Cloud の特徴は以下の通り。

(1) ビデオ会議・ウェブ会議・音声会議を統合できるため、スマートデバイスから専用の会議室利用まで、必要に応じた会議スタイルの選択が可能となる。個別の会議はパーソナル会議機能を使い、大人数の場合のみ会議室を利用するなど効率的な会議室運用ができる。

(2) クラウドソリューションであるため、小規模な環境から始められ柔軟な導入が可能だ。また、会議用の設備を持つ必要がなく、ITインフラ運用コストの削減が可能。

(3) シスコ製テレプレゼンス製品から他社製ビデオ会議端末まで既存のビデオ会議システムと統合でき、スマートデバイス (BYOD を含む)、PC、専用会議端末など多彩な端末に対応できる。

ユニアデックスは、従来提供しているユニファイドコミュニケーション製品・サービス群に加え、Cisco CMR Cloud を使ってユーザの環境に合わせた会議ソリューションの構築・導入を提案し、あらたなワークスタイルによる企業の生産性向上を支援している。2000年初頭からユニファイドコミュニケーションに取り組み、これまで100社以上の企業に22万台以上のIPフォンをは

じめとしたシスコ UC 端末を導入した実績がある。また、シスコの「マスターコラボレーションスペシャライゼーション」の

資格を持っており、ビデオ会議においては旧タンバーク社時代から豊富な導入実績がある。

今回、社内に Cisco CMR Cloud のデモンストレーションを実施できる体制を準備し、製品の拡販をしていく。関連の販売・保守・導入支援サービスにより、今後、3年間で30億円の売上を目指すとしている。

なお、6月4日～5日、東京都内で開催する、日本ユ

ニシスグループ総合フォーラム「BITS 2015」の展示コーナーにおいて Cisco CMR Cloud を紹介する予定。

## ビジネス動向-海外

### ■アバイア：Esna Technologies 社の買収を発表、業務アプリケーションへ UC の組み込みが容易に

アバイア社（米国・カリフォルニア州）は、Esna Technologies 社（カナダ・オンタリオ州）を買収したと発表。（5月28日）

Esna Technologies 社は、リアルタイムコミュニケーションおよびコラボレーションソリューションを提供する会社。設立は1989年。企業で活用されている業務用アプリケーションにリアルタイムコミュニケーションツールを埋め込む（embed）技術を提供している。これにより、ユーザは、日常使うアプリケーションから簡単にコミュニケーションのセッションに移行できるようになる。つまり、複数のアプリケーションを起動せずに、業務アプリケーションからコミュニケーションを開始できる。その仕組みを提供しているのが Esna 社。

Esna の技術を搭載した「Avaya Communicator」ウェブクライアントが「Avaya IP Office」および「Avaya Aura プラットフォーム」に提供される予定。これは企業ユーザの通信環境がマルチベンダー化していることを受けてのもので、Esna により、アバイアや他のベンダーからの新しいコミュニケーション技術を社内の業務アプリケーションに統合しやすくする。買収により Esna 社はアバイア社の100%子会社となる。Esna の知的財産、社員、顧客を取得したことになる。

## 導入・利用動向-国内

### ■デル：オークロンマーケティングが「Microsoft Lync」を導入、1000人規模の UC 環境導入により業務効率向上と BCP 対応促進

デル株式会社（神奈川県川崎市）は、株式会社オークロンマーケティング（愛知県名古屋市）が、デルのインフラストラクチャ・コンサルティング・サービスを通じて、「Microsoft Lync」を導入したと発表。（5月21日）

オークロンマーケティングは、1993年の創業以来、長年にわたり、「ショップジャパン」ブランドのもと、テレビショッピングをメインに多彩な商品やサービスを提供し市場をリードしてきた。昨今の市場の変化にともない、オムニチャネル戦略に注力し、テレビショッピング、e コマース、店舗販売、モバイルショッピング、カタログショッピングなどを展開している。

オークロンマーケティングによると、オムニチャネル戦略を推進する上で、ワークスタイルを変革することは重要かつ喫緊の課題だった。Microsoft Lync によるユニファイドコミュニケーション基盤は極めて有効という。

一方、Microsoft Lync をデルより採用した理由としては、デルが有するグローバル規模で培った Lync などのユニファイドコミュニケーションに対する豊富な技術や知見、リスクを極力回避した要件定義・設計に基づくコストパフォーマンスの高い見積もり提案を評価したとしている。

Lync のメリットとしては、Lync 会議時に必要なメンバーをすぐに招集できる、プレゼンスにより社員の見える化が促進された、画面共有のセキュリティ向上、オフィスのフリーアドレス化、社外から社内へのネットワークへの容易なアクセス、Lync モバイルによる BCP 対応などを挙げている。

導入に際しては、サポート期限の迫っていた

「Windows XP + Office 2007」から「Windows 7 + Office 2013」へアップデート、また、「Microsoft SharePoint」によるポータルサイト構築なども同時に平行。Microsoft Lync から OS、業務ソフト、ポータルまでシームレスな連携と最適化を行った。

そのなかで、Microsoft Exchange との連携によるメール活用の効率化、DirectAccess との連携による社外からの効率よいアクセス、ポリコムテレビ会議システムとの連動などにも取り組んだとしている。

>>株式会社オークロンマーケティング

<http://www.oaklawn.co.jp/>

## 市場動向-国内

### ■IDC Japan:国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション(UC&C)市場予測を 発表

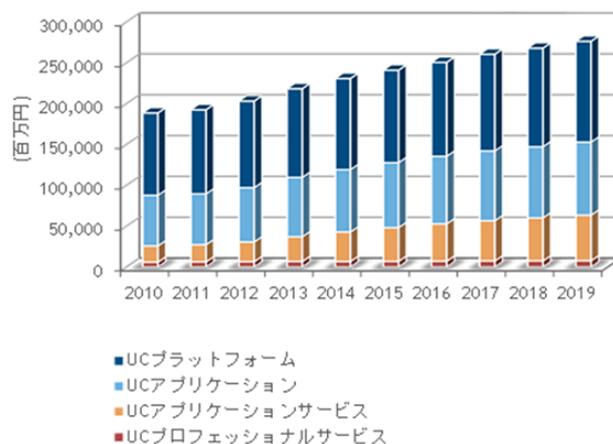
(5月20日)

IT 専門調査会社 IDC Japan 株式会社(東京都千代田区)は、国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション (UC&C) 市場を調査し、2014 年の同市場の分析および 2015 年から 2019 年の市場予測を発表した。同社では、UC&C 市場を、「UC プラットフォーム市場」「UC アプリケーション市場」「UC アプリケーションサービス市場」「UC プロフェッショナルサービス市場」の 4 つの市場セグメントに分類し、市場規模調査と予測を行った。

また、この市場規模の調査を「IP テレフォニー市場」「コラボレーティブアプリケーション市場」「IP コンファレンスシステム市場」「IP コンタクトセンターシステム市場」の 4 つのソリューション市場に分類し、それぞれの市場について個別に市場予測を行っている。今回の市場予測では、「企業内線サービス」を IP テレフォニー市場に、また「ファイル同期/共有ソフトウェア」コラ

ボレーティブアプリケーション市場に追加している。

上記の市場セグメント分類をもとに分析した 2014 年の国内 UC&C コラボレーション市場規模は、前年比 5.7% 増の 2,307 億 7,600 万円になった。市場は通年で好調を維持した。企業の音声インフラのリプレイス需要が継続したこと、新規に今回の分析から追加したファイル同期/共有ソフトウェアが急成長したことなどが背景にある。



### 国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場 セグメント別売上額予測: 2010年~2019年 (IDC Japan)

一方、2015 年は、2014 年の市場拡大要因であった、企業音声インフラの更新需要は一巡し成長率は鈍化するものと同社では見ているが、コラボレーティブアプリケーションの SaaS 型需要の増加、Web 会議サービスの増加などの促進要因があり、2015 年通年では前年成長率 4.4%と堅調な成長を維持すると予測している。

さらに、2015 年以降の同市場は、企業モバイルソリューション/ビデオコラボレーション/クラウド型コラボレーションなど第三のプラットフォームによる市場けん引要因により堅調に成長し、2014 年から 2019 年の年間平均成長率(CAGR)は 3.7%、2019 年には 2,763 億 4,300 万円の規模になると予測している。

なお、今回の発表は、IDC が発行したレポート「国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場 2014 年の分析と 2015 年~2019 年の予測」

(J15440103) にその詳細が報告されている。

問い合わせ先は、報道関係者は同社マーケティング、  
また一般の方は同社セールスまで。

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス 「TeleOffice」体感セミナー

日時：6月3日/24日(水)(水) 14:00~16:00

※2015年9月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

#### ■「いつでも」・「どこでも」・『だれでも』使える！

#### Web 会議サービスの活用法とメリット--スマートフォン・タブレット端末だけじゃない！ドローンとの連携で業務改革--

日時：6月3日(水) 13:30 ~15:30 (受付：13:30)

会場：カシオ計算機(大阪市中央区)

主催：カシオ計算機株式会社

共催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/181>

#### ■女性活躍推進のための働き方変革 ~【実践から学ぶ】どこでも仕事ができる環境づくり(テレワーク)で、生産性を向上させる方法とは~

日時：6月4日(木) 13:30~15:00(接続：13:20~)

会場：オンラインセミナー

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/182>

#### ■事例から学ぶスマートフォン・タブレット 端末活用で働き方改革現場と1,300分接続で業務効率UP！モバイル端末が"活かされる"ケースとは

日時：6月11日(木) 13:30~15:00

会場：オンラインセミナー

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/183>

#### ■テレビ会議・PC・タブレット・Skype for Businessをつなぐ 新世代の多地点サーバ「Pexip Infinity」 無料体験セミナー

日時：6月16日(火)・17日(水)・19日(金)

午前の部 10:00~/午後の部 15:00~

会場：VTV ジャパンデモルーム(東京・大阪)

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1506vtv/>

#### ■安定した映像・音声品質で、iPadでも快適！Web 会議システム「IC<sup>3</sup>」事例と活用セミナー

日時：6月18日(木)15:30~17:30(受付：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア本社(東京都品川区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/298>

国内その他：<http://cna.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cna.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2015年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

## 情報発信について

CNA レポート・ジャパン(橋本啓介)では、国内外における遠隔会議システム(テレビ会議・Web 会議・電話会議・ユニファイドコミュニケーションなど)に特化した情報配信を行っています。

その情報配信のためのリサーチにおいては、企業やセミナー・展示会の取材などのほか、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネット

に公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

収集された情報の中で、市場トレンドを見ていく上で参考になるとと思われる情報をピックアップして配信しています。皆様ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

**定期レポート(15日・月末発行)**:各社からのプレスリリース、CNAレポート・ジャパンの取材による記事のみ。

**Dtc-forum** メーリングリスト、フェイスブック&Twitter (それぞれほぼ毎日配信):定期レポートであつかっている各社からのプレスリリースや取材を含む、遠隔会議システムに関する情報全般。

詳細は、<http://cnar.jp> 「情報配信について」をご覧ください。

**CNAレポート・ジャパン2015年5月31日号おわり**

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)